

10 【北海校校友会】

北海高等学校校歌

土井晩翠 作詞
本居長世 作曲

一、天地を包む雪の色
その寂寞の冬去りて
緑の大野見ることく
闇より明けし北海の
空光明のおとずれよ

二、野は石狩の奥千里
その端ここに豊平の
川に臨みて文教の
基づくところ一団の
健児集まる学びの舎

清秋の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本日、第9回「土井晩翠先生が作詞した校歌と一緒に歌いましょうの会」が盛会に開催されました事、心よりお祝い申し上げます。また、実行委員会の皆様、仙台市立立町小学校関係者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

北海道は札幌より北海高等学校を母校とする「北海校校友会」が参加させて頂く事となりました。北海高等学校は、1885年（明治18年）に創立し、今年で133年を迎えました。創始者、大津和多里が青年たちに語りかけた事が北海の源流です。大津氏は仙台藩士であり、後に札幌農学校（現 北海道大学）に入学。そして、将来有望な青年たちの為に教育の場へ突き進む事となります。

北の大地に伝統を刻み続ける第一歩、北海英語学校（後の北海中学、現 北海高等学校）の始まりでした。その後、戸津高知氏（明治5年仙台生まれ）が北海中学第2代校長に就任し、「文武両道・質実剛健・百折不撓・自由と正義」という北海の校風を育てられました。この戸津氏が同郷の土井晩翠先生に校歌を依頼し、晩翠先生により作詞され、間もなく本居長世氏によって作曲されたという事です。このように仙台とのご縁の中で完成された我が校の校歌は、北海精神そのものであり、卒業して年月が流れようとも消える事のない心の支えとなっております。

本日は、北海の先人達と土井晩翠先生を偲び、感謝の意を表するとともに、日本三大校歌と称されております母校北海高等学校校歌を卒業生4万人と在校生の想いを込めて歌いあげたいと思います。我が校シンボルである応援団OB会を引き連れて参りましたので、エールのもと声高らかに披露させて頂きます。

末筆ながら、仙台と北海との深い絆を想い、貴会の益々のご発展と、皆様方のご健勝を祈念致しましてご挨拶とさせて頂きます。